

● 指導のポイント

本校は、昨年度から文部科学省委託「道徳教育改善・充実」総合対策事業のメニュー1の指定を受け、道徳科の趣旨を踏まえた授業づくりをめざし、以下に示した構想図に基づいた研究を推進している。今年度も、研究主題を「ふるさとの学びを生かし、よりよく生きる基盤となる道徳性を養う児童の育成～西城の『ひと』『こと』『もの』を生かした道徳教育の創造～」とし、教科や領域・体験活動等と効果的に関連付けた道徳科の指導方法の工夫改善を行うことで、本校の道徳教育の重点項目である、児童の共感する力や思いやりの心、協力し合う態度を育てることとした。

その手立ての1つとして、「西城の『ひと』『こと』『もの』」を効果的に活用するため、カリキュラムマップを作成し、年間の行事やつながりを明確にしている。

また、道徳科を要とし、他の教育活動との関連を図ることで、「いじめ」「命の大切さ」について、全校児童で考え取り組み、いじめをなくす風土と思いやりのある学校づくりを目指している。

研究構想図

